

全溶連

令和6年4月 第208号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 現場を守り 80年
- 重ねよう 細かな確認 自主保安



(全溶連は2030年度に向けて掲げたSDGsの目標に取り組んでいます。)



あしかがフラワーパーク (大藤)

写真提供：公益社団法人栃木県観光物産協会

2023年度第二回評議員会開催	02	単位組合紹介 (栃木県一般高圧ガス安全協会)	12
評議委員会に於ける講演会記事	05	賛助会員の広場 (株式会社旭製作所 / 株式会社ダイヘン)	13
報告事項	08	全溶連・賠償責任保険制度案内	14
第3回全溶連川柳 優秀賞のご案内	09	お知らせ (第81回全溶連 通常総会のご案内)	15
委員会報告	10		

2023年度第二回評議員会開催

2023年度第二回評議員会が2024年2月16日（金）新大阪ワシントンホテルプラザにおいて役員41名出席のもとに開催されました。当日審議された議案は6月開催の総会に上程の予定です。



定刻、事務局より評議員会運営規程第9条に定める過半数以上の出席により、本会議は成立している旨を報告し、次いで河西副会長より開会挨拶がされた。

「今年は能登地方の大地震、飛行機の事故と言う衝撃的な形で始まりました。お亡くなりになった方たちのご冥福をお祈り申し上げますと共に被災されていらっしゃる方々に心よりお見舞い申し上げます。

我々を取り巻く環境は世界的にもウクライナ、パレスチナ、台湾海峡と地政学的なリスクもありますし、アメリカにおける秋の大統領選挙、日本国内の政局等変動要因もあります。

経済においては大企業の業績は良く、株高ではありますが我々を取り巻く環境は、エネルギー資材価格の高止まり、そして人件費、物流コストの上昇と言う形で非常に厳しい状態にあります。

ただ繰り返して申し上げますが、全溶連としてはどのような環境になっても高圧ガスの保安の確保、これは最優先で取り組まなければならない課題であると認識しております。高圧ガス事故の発生件数も高止まりしておりその要因の大半がヒューマンファクターに基づくものだと言われておりますので我々販売店としての保安、安全を基礎と

してお客様である消費事業者に保安の活動を強化していくことが必要であると思っています。

また、昨年全溶連大会においてSDGs宣言を行っております。この件につきましては全溶連の7つの委員会に於いて、それぞれの目標に向けての活動をしておりますが、さらに日常の業務活動の中で持続可能なより良い社会を目指してご尽力頂ければ幸いです。

本日は2023年度の事業報告、決算見込、2024年度の事業計画、予算案についてご審議を頂くことになっております。

また、議事の終了後には兵庫県立大学大学院大島准教授による「高圧ガスのAIの活用について」の講演を頂けるようになっております。最後まで、皆様のご協力をお願いして、私の挨拶とします。」

引き続き、深尾会長が議長となり議事に入った。

第1号
議案

2023年度事業報告(案)
承認の件

事務局より議案書に基づき以下の内容を報告した。

1.全溶連の環境（内容朗読）

2.全溶連の事業活動の状況（内容朗読）

②2023年 4月1日：1,339社

3.一般庶務事項（記載通り）

③2022年10月1日：1,355社

4.委員会活動の状況

各委員会の開催状況を報告した。

7.慶弔

慶事は記載通り、物故者については後日調査後報告とする。

5.総会及び役員会における審議事項（記載通り）

6.会員数の状況

①2023年10月1日：1,330社

②比▲9社、③比▲25社

以上事業報告は承認された。

第2号
議案2023年度決算見込み(案)
承認の件

柳川財務委員長から2023年度決算見込(案)について報告した。

2023年度 収支決算書(見込案) 要旨

(収入の部)

単位：千円

科目	予算	決算(見込)	備考
1基本収入	25,880	25,514	-366 正会員 1,339社 -1 賛助会員 38社
2事業収入	15,449	14,952	-497
(保安事業関係)	8,940	8,732	(-208)改訂版テキストの頒布数は増加、全体的頒布数減少
(共済事業関係)	6,509	6,220	(-289)制度運営費の改訂により1月～3月分が減額
3事業外収入	1,750	1,750	±0 利息、パンフレット封入代、損保広告掲載料他
4前年度繰越金	16,799	16,799	
総合計	59,878	59,015	

(支出の部)

単位：千円

科目	予算	決算(見込)	備考
1事業費	12,200	10,284	-1,916
(保安事業関係)	5,110	4,704	(-406)販売に応じた原価
(共済事業費)	820	780	(-40) 集金代行業者への団体保険事務受託費
(その他事業費)	6,270	4,800	(-1,470)販売に応じた原価
2会議費	3,100	4,400	+1,300 理事会・評議員会・保安対策連絡会議
3管理費	26,472	26,329	-143 社会保険・労働保険事業主負担分減少
(人件費)	17,300	17,360	(+60) 職員給与、法定福利、福利厚生費
(諸経費)	9,172	8,969	(-203)インボイス対応費負担が減少
4総会・大会準備金	1,000	1,000	±0 2023年開催九州大会準備金
5営業外費用	300	150	-150 周知文書減耗処理
6次年度繰越金	16,806	16,852	見込利益 53千円(予算利益 7千円)
総合計	59,878	59,015	

次年度繰越金は16,852千円となることから全額次年度繰越金とすることが提案され承認された。

第3号
議案2024年度事業計画(案)
承認の件

関口事務局長より、昨日開催された総務委員会及び常任評議員会で決定された13項目の事業計画案が提案された。

1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守

2.高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底

3.主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導

4.自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進

5.関連業界及び団体との共同事業の推進

6.高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施

- 7.高圧ガス不明容器処理の対策・推進
- 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
- 9.福祉共済制度・団体定期保険（キャンペーン）
及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに
賠償責任保険制度の普及
- 10.会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布

- 11.第81回全溶連総会（大阪）の開催および第
82回全溶連大会（東海）の準備
- 12.「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
- 13.SDGsの活動の展開について

以上、2024年度の事業計画（案）は承認された。

第4号
議案

2024年度収支予算（案）
承認の件

柳川財務委員長より2024年度予算（案）について提案された。

2024年度予算（案）要旨

(収入の部)

単位：千円

科 目	2023年度見込	2024年度予算	備 考
1 基本収入	25,514	25,460	- 54 正会員 1,330社 賛助会員 38社
2 事業収入	14,952	15,222	+ 270
（保安事業関係）	8,732	9,720	(+ 988) 保安文書全体の頒布価格を20%、周知文書3円値上
（共済事業関係）	6,220	5,502	(- 718) 団体保険契約の全溶連運営費を従前より- 10円で計上
3 全溶連総会収入	0	1,200	(+ 1,200) 懇親会参加者 120名 大阪ガーデンパレス
4 事業外収入	1,750	1,750	± 0 利息、パンフレット封入代、損保広告掲載料他
5 前年度繰越金	16,799	16,852	
総合計	59,015	60,484	

(支出の部)

単位：千円

科 目	2023年度見込	2024年度予算	備 考
1 事業費	10,284	11,406	+ 1,122
（保安事業関係）	4,704	5,026	+ 322 販売に応じた原価
（共済事業費）	780	780	± 0 集金代行業者への団体保険事務受託費
（その他事業費）	4,800	5,600	+ 800 会報関係費資材、配送、制作コスト上昇分を加味
2 会議費	4,400	4,400	± 0
3 管理費	26,329	26,579	+ 250 社会保険・労働保険事業主負担分増加
（人件費）	17,360	12,100	(- 5,260) 4月より職員2名、出向1名体制
（諸経費）	8,969	14,479	(+5,510) 出向1名分受入を業務委託費扱い
4 総会・大会準備金	1,000	1,000	± 0 次回開催大会準備金
5 営業外費用	150	150	± 0 棚卸減耗費
6 次年度繰越金	16,852	16,949	2024年予算利益 97千円 (2023年度見込利益 53千円)
総合計	59,015	60,484	

以上2024年度予算（案）は承認された。

第5号
議案

第81回全溶連総会（大阪）に関する件および
第82回全溶連大会（東海）に関する件

関口事務局長より、第81回全溶連総会の開催状況および第82回全溶連大会の開催に関する事項について提案された。

1) 第81回全溶連総会開催について

- ①総会開催日 2024年6月7日（金）

- ②開催場所 大阪ガーデンパレス（新大阪）
- ③参加費（懇親会費）として10,000円/人
上記の内容にて準備を進めたい。

2) 第82回全溶連大会開催について

- 1.開催日 2025年6月12日（木）、13日（金）
- 2.会 場 名古屋マリオットアソシアホテル
JR名古屋駅
- 3.参加予定人数 300名（最大）

- 4.①オプション観光 バス日帰り 30名程度
②オプションゴルフ 10組予定

第5号議案第81回全溶連総会及び第82回全溶連大会の開催について承認された。

評議委員会に於ける講演会記事

全溶連における高圧ガス自主保安活動の事業の一つとして、高圧ガス関係事業所の責任者として保安意識の高揚を図るため今般「理事会・評議員会」をより有意義なものとするため「高圧ガス系AIの可能性」と題して兵庫県立大学大学院の大島准教授による講演を行った。

講師プロフィール

兵庫県立大学 大学院情報科学研究科 社会情報科学部 准教授
大島 裕明(おおしま ひろあき)

1. 講師略歴

- 1997年 神戸大学 工学部情報知能工学科入学
所属サークルは経営学研究会
2004年 京都大学 大学院情報学研究科博士後期課程入学
2007年 京都大学 大学院情報学研究科博士後期課程修了 博士(情報学)
2007年 京都大学 大学院情報学研究科に特任助教として着任 2017年まで特定助教、助教、特定准教授として勤務
2017年 兵庫県立大学 大学院応用情報科学研究科に准教授として着任
2019年 兵庫県立大学 社会情報科学部兼任
2021年 兵庫県立大学 大学院情報科学研究科兼任

2. 講演概要

現在の社会は、データが人や物事を動かすデータ駆動型社会となってきている。多種多様な膨大なデータが、今この瞬間にも生み出されている。人工知能の発展を支えているのもデータである。大量のデータが蓄積され、それらのデータから価値ある情報を取り出す技術や、データから人々の行動変容を起こすことができる技術が求められている。今後、データを蓄積し、取り出しそしてデータをうまく活用することが必要になってくる。本講演では、「データがすごい」という事を紹介。さらに高圧ガス保安法、関連する省令、ガイドライン、告示などをChatGPTに読み込ませることによって、高圧ガス関連知識についての質疑応答



が可能なAIを実現することができるかどうか、その可能性について検討していく。

講演内容

今後の社会はChatGPTが当たり前時代となりAIを駆使していく方向に進んでいる。

そこには当然リスクはあるがそのリスクを理解したうえでAIを使用していく方向であり、AIの中でもChatGPTをうまく利用することを考えていきたい。

本日の講演に当たって聴講者にChatGPTの利用経験の確認をしたが利用率がまだまだ低い水準であることを再認識した。

本日の講演後、皆さんにChatGPTを使用するようにお願いしたい。

今後の社会においては、職場においてChatGPTを使用するのは当たり前となっていくことは必至であり、これに対応するためにも慣れることが不可欠であると考えている。

- ・ ChatGPTを含むものは生成系AIと言われテキスト、画像、動画、音声と言った新しいコンテンツを自動的に生成する能力を持った機械を生

成AIと呼んでいる。

この生成AIは大量のデータを読み込み、学習し、パターンや構造を復習して新しいコンテンツを生み出していく。

テキスト系AIにはChatGPT、BingAIchat、グーグルのバード等のソフトが出回っており、キャラクター付けが異なっているが色々試して頂きたい。

これ以外には画面生成AIがあり、例えばダリー、アドビファイヤーフライ、ステビディフュージョン、など代表的なソフトがあるが気軽に使用できる。

現在生成AIは沢山の企業がこぞって制作して世に出回っており、その中でもChatGPTが有名であると共に我々がすぐに使用でき役に立つツールとなっている。これは2022年にオープンAI社がリリースしたもので、自然な会話ができ会話の回答も自然な形での返答で色々なタスクに対応したものになっている。

文書に対しても生成されており、この英語を翻訳してほしいと問えば翻訳して回答してくれる。

文章の文字数が限られている場合には要約して文字数への制限条件に対する要望にも応えてくれる。これがChatGPTである。

今回の講演では全溶連における高圧ガス自主保安活動の事業として「高圧ガス系AIの可能性」を検討していく。

・高圧ガス系AIの可能性（高圧ガス関連知識を持つAI構築の可能性）

高圧ガス系の方々に満足して頂けるか？ ChatGPTに高圧ガスの事を聞いても情報として乏しく回答内容は満足が得られないのが現状である。

現状から脱却して使用可能とする状態にするにはどのようにしたらよいか？

使用可能と言う状態に進めるには難題が山積している。高圧ガスを扱うに当たっては安全性が求められることなので現状ではAIに任せることができないと思われるが将来的に考えていくきっかけになればと思っている。

例えば一般的な設問として高圧ガスに関して「24時間連続運転の場合、日常点検はいつ何回行うべきでしょうか？」との問いに対し、Q&

Aとしては以下のとおりである。

設問に対する模範解答：24時間連続運転の場合は、各直ごとに1回以上点検を行って下さい。また、関連情報としては、以下の内容が補足される。

- ・一般高圧ガス保安規則第6条第2項4号（製造）高圧ガスの製造は、製造設備の使用開始時及び使用終了時に当該設備の属する製造施設の異常の有無を点検するほか、1日に1回以上製造する高圧ガスの種類及び製造設備の態様に応じ頻繁に製造設備の作動状況について点検し、異常のある時は、当該設備の補修その他の危険を防止する措置を講じてすること。
- ・一般高圧ガス保安規則第55条第2項4号（特定消費）一般高圧ガス保安規則の第6条第2項4号や液化石油ガス保安規則の第6条第2項4号では、高圧ガスの製造において1日1回以上製造設備の作動状況について点検するように指示している。

同様に、一般高圧ガス保安規則の第55条第2項3号や液化石油ガス保安規則の第53条第2項2号では、特定高圧ガスの消費においても1日に1回以上消費設備の作動状況について点検するよう指示している。

上記のような条文情報を参考にしながら回答としては、24時間連続運転の場合は各直ごとに1回以上点検を行って下さい。と言う回答とするのが正解となる。

この設問と同内容の設問をChatGPTに命令してみる、

A) 高圧ガス設備の日常点検は、安全性と適切な運転を確保するために非常に重要です。

24時間連続運転の場合、日常点検は運転中でも最低でも4時間ごとに行うべきです。

日常点検の目的は、異常や問題が発生していないかを確認することです。

これには、装置やパイプの漏れ、圧力の変動、温度の上昇などをチェックする必要があります。

24時間連続運転では、設備が長時間使用されるため、異常や問題が発生する可能性が高くなります。そのため、適切な日常点検間隔を確保することは重要です。

ただし、具体的な点検間隔は、設備の種類や規模、メーカーの指示などによっても異なる場

合があります。運転マニュアルやメーカーからのガイドラインに従って、最適な点検間隔を決定することが重要です。

内容はChatGPTがそれなりにうまく回答した結果となっているものの根拠もないことと法令にも準拠しない事柄であると思われることから、ハルシネーションを避けるためRAG (Retrieval-Augmented Generation 検索により強化した文章生成) を使用 (今回は質問に対する法令の条文を検索し、条文の中から必要な情報を事前に読みこませた後、ChatGPTに質問として投げかける) した対応を行い回答を導く。

この条件を基にChatGPTに対する命令を変えて以下のように質問を投げかけた場合

質問：あなたは高圧ガスに関する質問に答えるアシスタントです。

以下の文章を基に、質問に答えてください。根拠を示して回答ください。

第5条 次の各号の一に該当する者は、事業所ごとに、都道府県の許可を受けなければならない。

一、圧縮、液化その他の方法で処理することが出来るガスの容積（温度零度、圧力パスカルの状態に換算した容積をいう。以下同じ。）

・
・

3 第一項第二号及び前項第二号の冷凍能力は、経済産業省令で定める基準に従って算定するものとする。

この条件を組み込んだ結果は、以下の回答

A) 高圧ガスの製造には、以下のような行為が該当します。

1. 圧縮、液化その他の方法で処理することが出来るガスの容積が一定以上の設備を使用して高圧ガスの製造をすること（容積の基準は政令で定められています。）

2. 冷凍の為にガスを圧縮または液化し高圧ガスの製造をする設備で、一定の冷却能力以上のものを使用すること（冷凍能力の基準も政令で定められています。）

なお、上記の行為を行うためには、都道府県知事の許可を取得する必要があります。許可を受けることなく高圧ガスの製造を行うことは違法です。また、製造者は製造の種類や施設の情

報を都道府県知事に届ける義務もあります。これらの規制は、高圧ガスの取り扱いにおける安全性と適切な管理を確保するために設けられています。

ChatGPTに対する命令を変えて質問することにより上記のような回答が得られる。このことからRAG情報をより正確な情報としてChatGPTに覚え込ますことにより正確な情報を導き出せることが可能になる。

関連情報をうまく見つけられれば、どの様な回答が得られるか？理論上最高となるには検索の性能を上げることによって到達することが可能であると考えられるのが、hatGPT（関連情報）である。

関連する情報をうまく利用することでより良い回答を導き出すことが可能となる。

結論として、RAGを用いてChatGPTを使用したら法律と関係あるようなことに対して、ある程度こたえられる可能性があることが確かめられたと思っている。高圧ガスに法令があり、それに対して質問が与えられた場合、その法令の文書を有効的に用いることにより理想の答えを返してもらえることが可能となる。

RAGを利用してうまく回答を導き出す為には何をやらなければならないか？質問に対して関連情報をうまく発見する機能（検索機能）をうまく作る必要がある。

例えば24時間連続運転の点検頻度は？との質問が与えられたときに関連条文として種々の条文等を見つけ情報としてインプットしておくことにより、よりよい検索には何が必要か？がポイントとなる。そのためにはデータが必要になってくる。どの様な質問に対し、どの様なところが関連するのかを表すような質問と理想の回答もしくは回答において使われるべき条文が揃った資料が大量にあれば、よりよい検索が可能となる。

この様な情報を業界の皆さんは大量に用意されており、各都道府県においては各種保安テキストを作成されており、また業界から発行されている高圧ガス保安法令Q&A集は内容が良く、この質問に対する回答としてはこの条文に対する質問はこのように回答するのが良いという具合にまとめ

っている。

このような情報が大量にあったらChatGPTの学習と同様でより良いAIを生成する。その検索を実現することができる。現段階では高圧ガスに対する安全性の観点からAI生成に任せることはでき

ないが、今後、皆さん方には高圧ガスビックデータを作って頂き今後20年、30年の間にAIに任せられるようなことを実現させたいと思っており、そのためにも大量のデータが必要である。

報告事項

各委員会報告

総務委員会（関口事務局長より報告）

総務委員会の活動は第3号、5号議案の通りである。

財務委員会（柳川委員長）

財務委員会の活動は第2号、第4号議案の通りである。

組織委員会（竹腰委員長）

組織委員会の活動は組織の整備・拡充、会員増強に向けて活動しているが、昨年度に引き続き「企業の統合・合併や廃業」といった理由により2023年度も会員数が減少し続けている。

2022年10月の会員数は、1,355社で2023年10月には1,330社と、1年間で25社の減少となり減少に歯止めがかかっていない。正会員が減少している中、組織委員会としては賛助会員の加入増強に注力しており、今後も全溶連の加入メリットをアピールし、加入の働きかけに取り組む所存である。

経済委員会（佐藤委員長）

経済委員会は、1番目がSDGsの宣言目標達成への活動（保安委員会と共同）、2番目がSDGs活動の推進管理等、3番目が会員企業社員の教育支援資料更新、4番目が賠償責任保険制度の加入促進、5番目がその他、会員の要望による経済的問題の解決支援等、の5つの事業計画を立てている。

活動方針としては、全溶連会員の経済的な問題として上がってくる共通課題を解決すべく、昨年、本委員会から立ち上げたSDGs宣言の目標に沿って活動し、従来行っている賠償責任保険などの活動も粛々と進めていく。

今回の大きなテーマとしては、6月の80回全溶

連大会でSDGs宣言をした結果を踏まえて1番から7番までを実際の活動内容としている。

- ①鳥インフルや豚熱などの動物感染症について、殺処分用のガスの供給において県やメーカーとの協定内容や体制構築例の情報収集、方針のような形で発表。
- ②保安契約、指定薬物や吸引系ガスの事故防止に寄与する契約内容の検討。
- ③保安契約の中の盗難紛失、および流出に対応した契約内容の検討。
- ④容器貸与契約、代理登録契約の締結度合いの調査から、その結果や原因を見ながら推進のための環境整備等を検討（保安委員会との合同）。
- ⑤全国の指針調査・整理をもとに、特に客先容器管理の内容などについて各地の状況をすり合わせ、結果次第で全国一律の啓発文書などを作成、提供（保安委員会と共同）。
- ⑥周知義務のコロナ等の感染症対応について、電子化の効果を独自に評価し、結果によってKHK等と調整（保安委員会と共同）。
- ⑦SDGs効果の具体的な達成目標の設定検討、推進管理。
SDGs関係では経済委員会では7つの項目について、計画を継続する。

賠償責任保険制度の加入状況について、2023年度の募集結果は497社の加入で前年度に比較して8社減となり、加入率は56.3%、契約保険料は2,723千円増の62、677千円となった。

今後も会員の皆様の理解を頂き加入されていない会員の方は、この機会に是非検討願いたい。

保安委員会（大岡委員長）

保安委員会の2023年度の活動について、1～8の如く事業計画・活動計画・内容を実施したが、課題が多いことから分担制にする方向で進めてい

くこととした。

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.主管庁・協会への献策・関係法規制に対する意見具申、伝達指導
- 3.高圧ガス保安法に基づく「周知させる義務」の高度化・活性化
- 4.消費者講習会開催など、消費者に対する啓蒙、自主保安活動の指導・推進
- 5.関連業界及び団体との高圧ガス関連保安活動のさらなる活性化
- 6.高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器等処理活動
- 7.高圧ガスの乱用、悪用および犯罪抑止、自然災害対策のための活動
- 8.持続可能な高圧ガス活用社会実現ための目標達成

保安文書類の頒布状況に関して、地震防災、危険事例集については在庫切れの為頒布できない状況であるが、今後保安委員会との連携により改訂版を作成することを検討していく。

バルブ付き継ぎ目なし高圧ガス容器取扱説明書については先般、保安委員会各位へのアンケート調査を実施し調査内容に基づき改訂版の作成を行う予定である。

厚生委員会 (中尾委員長)

厚生委員会の活動は福祉共済制度の拡充ということで、団体定期保険、傷害補償、医療補償、GLTDの拡充を中に活動していく。

団体保険増強のキャンペーンの推進として2023年10月1日から2025年3月の1年半をかけ「ポイントゲット・キャンペーンPART4」を実施していきたい。キャンペーンについては、2025年

3月の段階で上位にいる団体を2025年6月に開催を予定している第82回全溶連大会で表彰することを考えている。

2023年1月の更新募集の結果は、全体では2022年1月時より加入人員は172名減の3,329名、加入口数は483口減の7,910口となり大幅な減少となった。福祉共済制度の制度運営費は各組合の貴重な手数料収入となっており、1月の定期募集以外の月でも随時加入が可能なので、今後とも皆様のご支援、ご協力を願いたい。

広報委員会 (藤本委員長)

広報委員会の活動は会報誌を年4回発行しており、特集記事（新春座談会・大会開催）の作成や第14回の写真コンテストを行い、応募総数15名・24作品の中から広報委員会で厳正な審査の結果、大阪高圧ガス溶材協同組合の都田さんの作品「鉄路の記憶：旧国鉄土幌線 タウシュベツ川橋梁」が最優秀作品として選ばれ1月号の表紙に掲載した。

また、新たに第3回目の全溶連川柳募集を開始し、応募総数25名46作品の応募があった。この取り組みは会報誌読者と直接結び付けたものであり、今後とも継続して実施していく予定である。

賛助会員については、少しでもお役に立てるよう会報誌の「賛助会員の広場」に会社広告を無償で紹介しており、既に3巡目に入った。皆さんに見て頂き、読んで頂く会報誌を目指し取り組んでいく。

全溶連のホームページについては、リニューアルして3年目を迎えたが、お気づきの点がありましたら何なりと指摘、要望を寄せて頂き、出来る限り要望に沿った改定をして参ります。

第三回 全溶連川柳

優秀賞

ほっとくと 怒り爆発 ガスと嫁

荒井 誠樹(群馬 カンサン(株) インダストリ営業部)

佳作

スマホや車 いつかはボンベも GPS

布野 泰行様(長野 宮原酸素株式会社)

緩めるな 点検確認 警戒心

片山 隼人(群馬 (株)マルホン 渋川支店)

地震去り 容器が無事で 一安心

関 真理子(新潟 (株)関茂助商店)

優秀賞1名・佳作3名・参加賞21名 総勢25名46作品 ご参加ありがとうございました。

委員会報告

2024年1月～3月

財務委員会

日時 2024年1月25日(木)14:00～16:00

場所 エッサム神田1号館 902会議室

出席者 深尾会長、河西副会長、柳川委員長、
他4名、事務局2名

議題

- (1)2023年度決算見込(案)について
2023年度利益見込み額 利益：53千円
- (2)利益処分(案)について
当年度未処分利益：16,852千円を次年度繰越金とする。
- (3)全溶連財務状況について

大会を隔年としたことで期末正味財産額（資産計－負債計）は年々積み上がっているが今期は4年ぶりに大会が開催され支出が嵩んだが前期より微増（36千円）となる見込みである。保険事業収入は加入人員、加入口数とも前年度より減少したことと2024年1月より保険料の額が360円/口から370円/口に変更となったことにより、全溶連運営費は10円/口減額となるため2024年1月～3月までの3ヶ月分の収益が減額となる。

管理費については、前年度と同等で推移している。

今後においても保安事業収入の源泉となる保安文書類等の頒布について全会員の協力をお願いしたい。

- (4)2024年度予算(案)について
2024年度予算(案) 利益：97千円
- (5)その他
以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。



総務委員会

審議内容については評議委員会の議案各号に掲載の為省略

日時 2024年2月15日(木)13:00～14:30

場所 新大阪ワシントンホテルプラザ
蘭・牡丹・菊の間

出席者 深尾会長、鈴木副会長、
東狐委員長他6名、事務局2名

議題

- (1)第81回全溶連総会（大阪）および第82回全溶連大会（東海）に関する件
- (2)2024年度事業計画(案)に関する件
以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。



経済・保安合同委員会

日時 2024年3月15日(金)14:00～16:30

場所 エッサム神田ホール1号館 701号室

出席者 佐藤委員長、大岡委員長、吉住副委員長、
宮川副委員長、鈴木副委員長、
柳田副委員長、他11名、オンライン8名、
事務局2名

議題

- (1)2023年度経済・保安合同会議における内容報告
 - ①～⑨について報告並びに審議が行われた。
 - ①高圧ガス保安法に基づく周知義務の高度化・活性化について
関連法規の周知徹底とその遵守について組合向け、会員販売店各社向けに比較表を完成させることを進める
 - ②販売店や主任者義務が各会員に徹底される販売マニュアルの改訂版出版

③主管庁・協会への献策及び関連法規に対する意見の具申、伝達指導

④高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器（放置、長停）等処理活動

⑤高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の高度化・活性化

英文周知文書をどのように周知させるか方法について検討とするがとりあえずHPで公開周知の訴求力向上版の検討

⑥高圧ガスの乱用、悪用及び犯罪抑止、自然災害のための活動

⑦容器指針比較表作成について

⑧消費者講習会など、消費者に対する啓蒙、自主保安活動の指導・推進

「高圧ガスの保安心得 2023」にて報告済みであるが、次期提案として広告による保安テキストの無償化があげられた。

⑨持続可能な高圧ガス活用社会実現のための目標達成

(2)2023年度容器処理事業（特別枠）実施状況について

(3)自主保安活動について

①保安文書頒布状況

各地の頒布状況に温度差があるのでもっと活用を願いたい

②2024年度周知文書（溶接溶断）について

今年度の頒布状況を鑑み前年度より1万部減の頒布となっている。

③2024年度周知文書（LP）について

LPに関しては溶断と比較して頒布数が少ないこともあり昨年並で推移

④全国一斉容器特別回収

2023年10月1日～10月31日の間にお

いて41,829か所を訪問し回収した結果、回収本数は、24,746本、うち長期停滞容器23,743本、放置容器525本、不明容器478本であった。

(4)保安文書価格改定について

電気代、送料、印刷インク代、紙代等の値上りが相次いでいることから4月より前年度頒布額より20%UPとするが、周知文書については1部3円の価格変更にとどめることとした。

同価格改定を前提として来期予算を計上していることを承知願いたい。

(5)令和5年度高圧ガス事故資料について

令和5年の消費先における事故を原因的にみると、誤操作・誤判断13件、容器管理不良5件、点検不良2件、その他8件になっており、人身事故は24件発生し、死傷者は41名となっている。

(6)全溶連賠償責任保険2024年度募集について

令和6年度の募集に関して昨年度と同様の内容で行う。募集文書発送時期は5月中旬、募集締め切り日6月中旬、保険始期日7月1日のスケジュールですすめている。

以上の議題を審議し承認された。



わが国最大の溶接・接合、切断技術専門展示会 JAPAN INTERNATIONAL WELDING SHOW 2024

2024 国際ウエルディングショー

人・文化・技術をつなぐ溶接・接合、切断の新潮流 - Weld-Beingで環境負荷低減とDXに貢献 -

新機軸企画 展示 講演

AM World 3Dプリンターフォーラム レーザ加工フォーラム

テクニカルセミナー 自動車、鉄骨、造船の各産業分野および非破壊検査コーティングに関する最新技術動向

学生向けツアー 高校生VR・AR溶接王!

展示会に関する最新情報、来場事前登録はWebサイトから!
<https://weldingshow.jp/>

2024.4.24(水)～27(土) 入場料 2,200円(税込) (団体・学生550円(税込))

10:00～17:00 インテックス大阪 最終日4/27(土)は16:00迄

主催：一般社団法人 日本溶接協会 産報出版株式会社

2024国際ウエルディングショー事務局 産報出版株式会社

東京本社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11 産報佐久間ビル TEL.03-3258-6411 FAX.03-3258-6430
関西支社 〒556-0016 大阪市浪速区元町2-8-9 難波ビル TEL.06-6633-0720 FAX.06-6633-0840

単位組合紹介

一般社団法人 栃木県一般高圧ガス安全協会

所在地 〒321-0921

栃木県宇都宮市瑞穂3-2-2 瑞穂野工業団地協同組合内

Tel: 028-666-6806 Fax: 028-666-6807

HP: <http://www.ippangas.tochigi.jp/index.htm>

会長 小野口 美治

設立 昭和57年発足

昭和59年社団法人設立認可

平成24年一般社団法人に移行

会員 69社(正会員・賛助会員含む、内全溶連会員29社)

役員 会長1名、副会長3名、理事10名、監事3名



小野口会長

目的

一般高圧ガスによる災害を防止し、県民の生命と財産を守るため、消費者等に対し、高圧ガスに関する知識の普及と意識の高揚を図るとともに、高圧ガスの保安に関する調査研究や防災活動を推進することによって、公共の安全と一般高圧ガス事業の健全なる発展に寄与する。

主な事業

協会では、各事業所や消費者に対する保安啓発を行い、高圧ガス取扱上の安全管理の徹底を図ることによって、職場等での事故・災害の防止に努めていただき、それにより公共の安全が確保されるよう下記の講習会を実施している。

1.消費者保安講習会

一般高圧ガス消費者への保安意識の啓発を図り、高圧ガス災害事故防止の徹底する。

2.移動監視者再教育講習会

高圧ガス移動監視者への再教育の機会を提供するとともに、高圧ガス販売及び輸送に従事する者に対し高圧ガス輸送時における保安意識の啓発を図り、高圧ガス災害事故を防止する。

3.第一種販売主任者再教育講習会

高圧ガス第一種販売主任者への再教育の機会を提供するとともに、高圧ガス販売に従事する者に対し高圧ガス販売等における保安意識の啓発を図り、高圧ガス災害事故を防止する。

また、当協会と栃木県は「家畜伝染病の発生時における防疫対策への協力に関する協定」を締結しており、栃木県内で豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生した場合には、県からの要請に基づき防疫に必要な二酸化炭素の供給を行っている。令和4年発生した国内最大規模の豚熱の発生時にもガスの供給を行った。いつ発生するか分からない家畜伝染病の発生に備えたガスの供給体制を整えている。



賛助会員の広場

継続発展を通じて関係する人々を豊かにし
社会に貢献していきます



一般継目無なし容器



FRP複合容器

 **株式会社 旭製作所** 〒339-0078 埼玉県さいたま市岩槻区掛 7915 番地
TEL 048-758-8071 <https://www.asahi-ss.jp>

溶接・接合技術で、
すべての人の
未来を豊かに。

溶接機器の生産を開始した1934年から90年。
常に最先端の技術を磨き、
世界のモノづくりに貢献してまいりました。
この長年の技術開発で培った溶接技術を
さらに誰もが使いやすい形へと深化するとともに、
新たな接合・加工技術へと昇華させ、
持続可能な社会の実現を目指してまいります。
くらしとモノづくりの基盤を支えるために
これからも新しい技術への挑戦を続け、
当社独自の価値を備えた製品・サービスの提供により、
人々の願いをつなぎ、未来を豊かにしていきます。



ダイヘンブースで
お待ちしております。

 2024 ^{4/24} ^{4/27}
インテックス大阪
国際ウエルディングショー

ダイヘンブース
5号館
ブースNo. 5-12



溶接・接合事業部/FAロボット事業部
<https://www.daihen.co.jp/>

全溶連賠償責任保険制度

2024年度募集のご案内

高圧ガス販売業務に伴う事故による、
第三者に対しての法律上の損害賠償責任をカバーする保険です。
全溶連会員企業のための、有利で加入しやすい制度です。

1. 幅広い補償

高圧ガス販売業のほかにも「工業用LPG販売業務」「電気溶接機販売業務」「電動工具／空圧工具販売業務」「エンジン・発電機販売業務」「溶接機販売業務」「医療用ガス・医療機器用ガス販売業務」を補償の対象に出来ます。

支払限度額は1億円、3億円、5億円の3種類から選べます。限度額は1年間を通じての支払限度額です。1回の事故について免責金額(自己負担額)は5万円とします。

特約についても同じとなります。

下記の専用特約が付帯されます。

全溶連特約①…借用財物、支給財物、受託財物を補償する特約です。

全溶連特約②…管理下にある財物を補償する特約です。

全溶連特約③…不良ガスにより出来上がった不良品を補償する特約です。

2. 割安な保険料

団体契約のスケールメリットにより、個別にご加入する場合と比較して、保険料が格安です。

3. 保険料の計算方法

高圧ガス販売業務等と、医療用ガス販売業務に分けて算出します。

4. 簡単な加入手続き

全溶連ホームページに掲載の活動報告に提供しております賠償責任保険計算表を利用するか、パンフレットに添付の計算表にて、簡単に保険料が計算できます。

保険料の申込票の送付(FAX)だけで、ご加入が可能です。また年の途中からでも加入が可能です。

5. 募集スケジュール

募集文書発送時期	5月中旬(全国会員宛に募集書類を発送)
募集締め切り日	6月中旬
保険始期日	7月1日

詳細は全溶連(03-5296-0430)までお問い合わせください。

第81回 全溶連 通常総会 のご案内

当連合会の第81回通常総会の日程、場所等が決定しましたのでご案内致します。

今年の全溶連総会は「通常総会」のみの形式で開催致します。

通常総会后、懇親パーティーも予定しておりますので、代議員以外の方々も奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

- 日 時：2024年6月7日(金)
通常総会 14:30～15:45
懇親パーティー 16:00～17:30

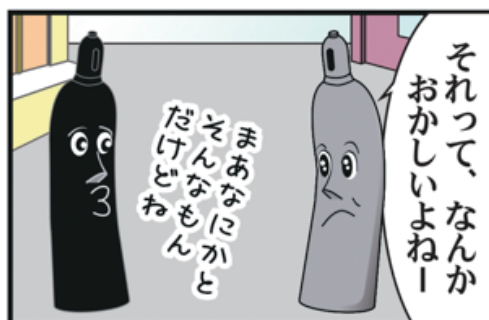
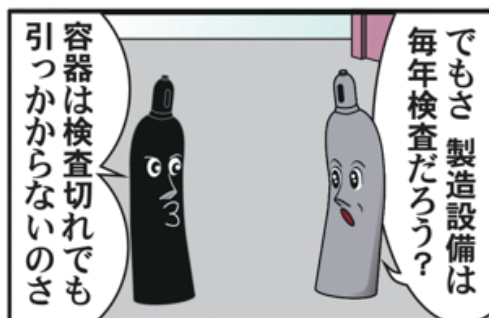
- 場 所：大阪ガーデンパレス
大阪府大阪市淀川区西宮原1丁目3-35
TEL：06-6396-6211
JR「新大阪」無料バス3分
JR「新大阪」北口より徒歩10分

- 通常総会：2階 桐

- 懇親パーティー：2階 桜・桐
(参加費お一人10,000円をご負担頂きます。)

ぼくはボン兵衛くん

原作：封緘ほうか 作画：ひくさん
第四十四話 「容器は回らない検査不足」の巻



全溶連ホームページでも 会報誌が読めます

全溶連の会報誌は、全溶連ホームページの広報資料ページより閲覧することが可能です。
また、過去に発刊しております会報誌につきましても閲覧することが可能です。

全溶連・福祉共済制度に「八大疾病一時金補償特約」がセットできます！

毎年、連合会会員特典として募集を行う全溶連・福祉共済制度に
“八大疾病を発病し、所定の要件を満たす場合に一時金をお支払いする特約”を「医療補償
 プラン」の専用オプションとして2023年1月より新たに追加し、より一層魅力ある制度となりました。
 是非、医療補償プランへのご加入をご検討ください！

補償の概要について

この補償は被保険者が八大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・高血圧性疾患・慢性腎不全・肝硬変・慢性膵炎（注））を発病し、所定の手術や症状の診断がされた場合に一時金をお支払いするものです。

（注）糖尿病は、糖尿病性網膜症または糖尿病性壊疽と診断された場合、高血圧性疾患は、大動脈瘤解離または大動脈瘤と診断された場合をいいます。



お支払する保険金額 **一時金 100万円**

八大疾病一時金補償特約を導入した背景

「八大疾病」について

八大疾病は上記補償の概要に記載する八つの疾病です。そのうち「三大疾病」と呼ばれるがん、急性心筋梗塞、脳卒中は、日本人の死亡率の約半分を占める病気です。その「三大疾病」に加え、代表的な生活習慣病（※）である糖尿病・高血圧性疾患・慢性腎不全・肝硬変・慢性膵炎もまた罹患率の高い疾病であり、あわせて「八大疾病」と呼ばれています。

（※）生活習慣病は、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称です。日々気を付けていても、年令あるいは悪い生活習慣の積み重ねにより発症・進行する慢性疾患で、年々増加しています。

八大疾病一時金補償特約 対象範囲と患者数
 厚生労働省 患者調査（平成29年）

がん	179.5万人
急性心筋梗塞	4.7万人
脳卒中	97.3万人
糖尿病	328.4万人
高血圧性疾患	993.8万人
慢性腎不全	39.3万人
肝硬変	5.4万人
慢性膵炎	3.1万人

補償導入の理由

この「八大疾病」に罹患して入・通院を余儀なくされた場合、治療費、入院中の雑費、通院交通費など、さまざまな費目の出費がかかります。社会環境の変化に伴って急増している生活習慣病のリスクも補償できるため、万一八大疾病を発病した場合、**経済的な不安なく、治療に専念する環境を提供し、早期復職に向けた療養期間を過ごしていただくための補償を提供することが福利厚生制度において必要であるという考え方から導入しました。**

のご案内には概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ずパンフレットおよび「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

団体お問合わせ先 一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会 TEL03-5296-0430

取扱代理店 **株式会社星和ビジネスリンク**
 （住所）〒108-0014 東京都港区芝4-1-23
 （電話）0120-288-270
 受付時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00
 （祝日・12/31～1/3を除く。）

引受保険会社 **あいおいニッセイ同和損害保険株式会社**
広域法人開発部営業課
 （住所）〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19
 （電話）050-3460-8162

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

（2023年7月承認）A23-101333

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12（大竹ビル）

Tel. 03-5296-0430 Fax. 03-5577-5062

http://www.zenyoren.com/ e-mail: honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会（E3PA）の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

